

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部身体障害者福祉会館及びふじみ園	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【南身館】</p> <p>[講習会・ボランティア育成事業]</p> <p>・社会福祉教室:小学生の部 全5回 213名、中学生の部 全3回 51名、高校生の部 全2回 70名</p> <p>・親子手話教室:全3回 101名</p> <p>・親子点字教室:全2回 34名</p> <p>・入門点字講習会:全5回 45名</p> <p>・入門手話講習会:全6回 124名</p> <p>[作業室]</p> <p>・在籍数:生活介護 21名(定員20名)</p> <p>【ふじみ園】</p> <p>・在籍数:生活介護 53名(定員50名) 就労継続B 9名(定員10名)</p>																																																																	
収支実績	<p>身障会館 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>33,411,516</td></tr> <tr><td>委託料他</td><td>31,128,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2,283,516</td></tr> <tr><td>支出</td><td>33,411,516</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>23,493,504</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>9,766,461</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>44,006</td></tr> <tr><td>その他</td><td>107,545</td></tr> <tr><td>差額</td><td>0</td></tr> </table> <p>ふじみ園 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>140,309,777</td></tr> <tr><td>受託加工事業</td><td>5,913,972</td></tr> <tr><td>自立支援費等</td><td>133,357,299</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,038,506</td></tr> <tr><td>支出</td><td>140,309,777</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>5,079,570</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>78,894,722</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>15,527,091</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>8,855,386</td></tr> <tr><td>その他</td><td>319,989</td></tr> <tr><td>会計単位間繰入金</td><td>31,633,019</td></tr> <tr><td>差額</td><td>0</td></tr> </table>	収入	33,411,516	委託料他	31,128,000	その他	2,283,516	支出	33,411,516	人件費	23,493,504	事務費	9,766,461	事業費	44,006	その他	107,545	差額	0	収入	140,309,777	受託加工事業	5,913,972	自立支援費等	133,357,299	その他	1,038,506	支出	140,309,777	就労支援事業	5,079,570	人件費	78,894,722	事務費	15,527,091	事業費	8,855,386	その他	319,989	会計単位間繰入金	31,633,019	差額	0	<p>障害者福祉サービス (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>60,166,098</td></tr> <tr><td>利用料他</td><td>59,260,408</td></tr> <tr><td>その他</td><td>734,644</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>171,046</td></tr> <tr><td>支出</td><td>60,166,098</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>32,017,604</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>5,922,249</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>3,261,911</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>170,926</td></tr> <tr><td>会計単位間繰入金</td><td>18,793,408</td></tr> <tr><td>差額</td><td>0</td></tr> </table>	収入	60,166,098	利用料他	59,260,408	その他	734,644	就労支援事業	171,046	支出	60,166,098	人件費	32,017,604	事務費	5,922,249	事業費	3,261,911	就労支援事業	170,926	会計単位間繰入金	18,793,408	差額	0
収入	33,411,516																																																																	
委託料他	31,128,000																																																																	
その他	2,283,516																																																																	
支出	33,411,516																																																																	
人件費	23,493,504																																																																	
事務費	9,766,461																																																																	
事業費	44,006																																																																	
その他	107,545																																																																	
差額	0																																																																	
収入	140,309,777																																																																	
受託加工事業	5,913,972																																																																	
自立支援費等	133,357,299																																																																	
その他	1,038,506																																																																	
支出	140,309,777																																																																	
就労支援事業	5,079,570																																																																	
人件費	78,894,722																																																																	
事務費	15,527,091																																																																	
事業費	8,855,386																																																																	
その他	319,989																																																																	
会計単位間繰入金	31,633,019																																																																	
差額	0																																																																	
収入	60,166,098																																																																	
利用料他	59,260,408																																																																	
その他	734,644																																																																	
就労支援事業	171,046																																																																	
支出	60,166,098																																																																	
人件費	32,017,604																																																																	
事務費	5,922,249																																																																	
事業費	3,261,911																																																																	
就労支援事業	170,926																																																																	
会計単位間繰入金	18,793,408																																																																	
差額	0																																																																	
サービス向上の取組	<p>・近隣の小学校と連携し、低年齢層向けに、障害者に関する基礎的な知識や接し方等を学ぶことを目的とした講習会を積極的に開催した。</p> <p>・個別支援計画に基づき利用者のニーズに沿ったサービス提供が行われた。</p> <p>・ふじみ園については、受注先の新規開拓を図ることで、平均工賃月額を前年度9,869円から14,744円へ大幅に上昇させた。</p>																																																																	

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・会館運営業務については、各種講習会の開催、地域・関係機関との連携等、仕様書に沿った安定した運営を行っている。また、作業室については、利用者のニーズをふまえたサービスを展開し、概ね良好な管理運営がされている。</p> <p>・ふじみ園については、実習生の受け入れや関係機関へ施設を周知することにより、新規利用者との契約につなげている。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・概ね良好な収支状況である。会計手続についても会計事務所による外部監査を受けるなど、適正に行われている。</p> <p>・ふじみ園については、食堂のLED化や加湿器付の空気清浄機を設置して利用者が安全・快適に過ごせるよう環境整備を行うなど、計画に基づき適正な支出がなされた。また、利用者には重要事項説明書に則って利用料金を請求し、適切な徴収事務を行った。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・仕様書に沿った運営が行われている。利用者のニーズ把握を把握し、サービスを行っている点や、近隣の小学校と連携し、低年齢層に障害者福祉の理解や啓発につながる事業を行っている点は、評価できる。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・仕様書の基準を満たす職員配置を行っている。また、積極的に外部の研修に参加することで、職員の資質向上に努めたほか、必要な研修については伝達研修を行うことで職員間での情報共有を図っている。 ・緊急時の連絡体制構築について、緊急時のみならず日常的な連絡・広報等に使うことにより、結果として生きた連絡網の整備に繋がった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・仕様書に沿った施設管理が行われている。施設修繕を積極的に行い施設の利便性の向上に取り組んでいる。 ・会館業務については、近隣小学校との連携による社会福祉講座の実施、関係機関からの見学や実習生受入れなどにより、障害福祉の普及啓発に寄与している。また、ボランティアの定着率も良好であり、地域に根ざした会館運営を図れていると言える。 ・生活介護では、業務マニュアルの再点検を行うことによるサービスの標準化を図ると共に、利用者が安全・快適に過ごせるよう個々の状況に応じたサービスや施設の環境を整えた点は評価できる。 ・受注先の新規開拓を図ることで、平均工賃月額を大幅に上昇させた取組みは評価できる。利用者一人ひとりが働く事への意欲を高められるよう、引き続き受注作業の拡張、魅力ある製品づくりに向けた取り組みを推進されたい。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・指定管理者期間の2期目3年目として、利用者・利用団体等との関係も確立し、安定した運営が行われている。
- ・会館業務については、近隣小学校との連携による社会福祉講座の実施、関係機関からの見学や実習生受入れなどにより、障害福祉の普及啓発に寄与している。また、ボランティアの定着率も良好であり、地域に根ざした会館運営を図れていると言える。
- ・生活介護では、業務マニュアルの再点検を行うことによるサービスの標準化を図ると共に、利用者が安全・快適に過ごせるよう個々の状況に応じたサービスや施設の環境を整えた点は評価できる。
- ・受注先の新規開拓を図ることで、平均工賃月額を大幅に上昇させた取組みは評価できる。利用者一人ひとりが働く事への意欲を高められるよう、引き続き受注作業の拡張、魅力ある製品づくりに向けた取り組みを推進されたい。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・利用者満足度調査については、今後も調査事項の設問内容や集約方法などを工夫・検証しながら継続していくこと。また、利用者・家族からの意見・要望が活発に出せるような環境づくりを更に進め、適切に対応することで、接遇等の向上に努めること。
- ・施設の老朽化が進んでいるため、定期的な点検を行い、軽易な修繕や備品の購入を計画的に行うなど適切な維持管理に努めること。